

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより第1号

令和6年4月26日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-ed.jp/>

新しい学校経営へのアップデート

北海道新篠津高等養護学校 立田 俊治

本年度、2年目となります、第12代校長 立田 俊治（たつた としはる）です。よろしくお願い申し上げます。4月9日には48名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。久しぶりに学年定員の新入学生を迎え、2年生39名、3年生32名と合わせて119名の生徒で令和6年度をスタートしました。

さて、令和6年度学校経営方針では、新しい項目を設定してアップデートを試みしたので、年度初めの御挨拶といたしまして2点を説明いたします。



1点目は、学校教育目標「豊かな心と たくましい体を持ち たくましく自立する生徒」の上位に教育理念「学校で完結しない教育 ～特別支援教育の生涯学習化～」を掲げました。従来から北海道の高等養護学校では、「社会自立」「職業自立」を教育の重点とすると共に、通常の高等学校では行われていない卒業生への卒業後の支援（卒後支援）を学校として組織的に取り組んでおります。この学校と社会との連続性をより一層展望しながら、教育実践に取り組むことを教育理念として掲げました。学校教育の「出口の教育」である高等部教育として、幼児期から生涯を展望した途切れのない指導・支援の充実を図ります。

2点目は、令和6～8年度教育指導・学校経営重点の一つとして、「地域での体験的な学習とICT教育の調和的な充実（ハイブリッド化）」を設定しました。文部科学省のGIGAスクール構想に基づきまして、本校もタブレット端末を生徒1人1台使用してICT教育を推進しており、「個別最適な学び」の充実を図る重要なツールとなっております。一方では、本校の生徒は間接体験よりも直接体験による学びの方が「生きる力」、「働く力」の育成につながるという学習特性があります。いずれの学び方も、生徒が卒業後の社会で豊かに生きて働くためには大切な時代になっていると考えております。それらの調和的に学んだことが、実際の社会で活用することができるかは、校外における地域での学習場面を設定して確認することが有効となります。従来から新篠津村内の各事業所様を中心としまして「現場実習」を受け入れていただき、生徒の勤労観・職業観の育成に大いに成果があるところです。本年度からは、通常の授業の中で、さらに地域での販売・納品活動を充実する取り組みを6学科で段階的に教育実践を推進していこうと考えております。

また、令和5年度に保健体育の授業で「パークゴルフ場」を利用させていただきましたが、生徒の学習への動機付けを高めることに大きな成果がありました。今後は教育活動全体で村内の各施設並びに人材の利活用をより一層推進して、より地域でのリアルな学習活動を展開したいと考えております。

結びになりますが、本校の生徒の学びは人と人とのかわりによって、その質が高まっていきます。本年度も、生徒のよき支援者として、御家庭、地域の皆様と学校が連携を図りますので、本校教育への御理解と御協力の程をお願いいたします。

第32回入学式

暖かな日差しが差し込んだ4月9日（火）、第32回入学式が挙行されました。新しい制服を身にまとった48名の新入生が立田校長から入学を許可され、新篠津高等養護学校の生徒として一步を踏み出しました。新入生はしっかりと返事や礼などの所作を丁寧に行い、最後まで真剣な表情で入学式に臨みました。また新入生代表の安藤夢七さんは、「今日から始まる一日一日を大切にしながら、社会人として学校を巣立つ日まで、自分自身のペースでしっかりと歩んでいきます」と堂々とした挨拶をしてくれました。その言葉を胸に刻み、新篠津高等養護学校32回生が互いを認め合い、自分らしく前向きに歩んでくれることを期待しています。



今年度も多くの新入生が寄宿舎生活での生活が始まりました。生活環境の変化にまだ慣れない生徒もありますが、少しずつリズムをつかみ意欲的に清掃などの活動を行う生徒も増えてきました。通学生も慣れない公共交通機関を利用し、緊張しながら登校してきていることと思いますが、入学して約2週間、新しい生活に対する緊張や不安を乗り越えている生徒たちの姿にたくましさを感じております。今後もたくさんの経験を積み、様々な課題を乗り越えながら、「社会人として巣立つ日まで」成長していく生徒たちと共に時間を過ごしていきたいと思ひます。

1 学年主任

図書室より



ほんをよむことによって、スマホや iPad でえられないくわしい
じょうほうえ情報を得ることができます。本の中のたくさんの言葉（ことば）
ふにふれることで自分の伝えたいことをわかりやすくつたえたり、
じぶんか自分で書きたいことを書く力をちからやしなうことができます。

たくさんのほんをたくさんとりそろえています。ぜひご利用ください！



《編集後記》

春の訪れとともに、今年度も新しい仲間がたくさん新篠津にやってきました。職員一同誠心誠意教育活動に取り組んで参りたいと思ひます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。